

令和5年度 上半期
四国中央市水道事業
業務状況説明書

令和5年 4月 1日から

令和5年 9月30日まで

四国中央市水道局

目 次

令和5年度上半期（令和5年4月1日～令和5年9月30日）の 業務の状況

1	事業の概況	1
2	経理の状況	1
	予算の執行状況	1
	(1) 収益的収入及び支出	1
	(2) 資本的収入及び支出	1

前年度の決算の状況

3	令和4年度四国中央市水道事業会計決算の状況	2
	(1) 概要	2
	(2) 決算報告書	4
	(3) 損益計算書	8
	(4) 剰余金計算書	9
	(5) 貸借対照表	10
	(6) 決算に関する注記	12

1 事業の概況

給水件数	44,273件	(令和5年9月30日現在)
上半期総給水量	5,353,753 m ³	(令和5年度上半期)
1日平均給水量	29,255 m ³	(令和5年度上半期)

2 経理の状況

予算の執行状況

(1) 収益的収入及び支出

科目	予算額 (A) 円	上半期執行額 (B) 円	執行率 (B/A) %
営業収益	1,947,246,000	933,614,050	47.9
うち給水収益	1,915,100,000	923,294,050	48.2
営業外収益	369,724,000	29,634,705	8.0
特別利益	30,000	0	0.0
収入合計	2,317,000,000	928,746,449	41.6
営業費用	2,051,464,000	486,432,326	23.1
営業外費用	223,561,000	70,854,569	29.4
特別損失	480,000	0	0.0
予備費	6,495,000	0	0.0
支出合計	2,282,000,000	557,286,895	23.6

(2) 資本的収入及び支出

科目	予算額 (A) 円	上半期執行額 (B) 円	執行率 (B/A) %
企業債	827,000,000	0	0.0
負担金	152,736,000	76,058,491	49.8
工事負担金	6,500,000	0	0.0
固定資産売却代金	764,000	0	0.0
収入合計	987,000,000	76,058,491	7.7
建設改良費	1,485,219,000	471,948,057	31.8
企業債償還金	511,500,000	254,529,182	49.8
負担金	1,610,000	800,460	49.7
予備費	7,085,000	0	0.0
支出合計	2,005,414,000	727,277,699	36.3

3 令和4年度四国中央市水道事業会計決算の状況

1. 概要

(1) 総括事項

当年度は、コロナ禍における原油価格や物価の高騰に対して、市民の生活や経済活動を支援するため水道料金の基本料金を3か月間免除する水道料金負担軽減事業を実施したことにより給水収益は減少となりましたが、この基本料金の免除分178,350,040円については営業外収益として全額一般会計より補填しております(基準外繰入)。

支出では支払利息の減少で1,340万円、また正規職員の減少により職員給与費が696万円減少しましたが、修繕費の増加などによりまして、費用全体では約1,600万円の増加しており、結果として当年度は114,386,936円の純利益となりました(前年度純利益159,529,539円)。

水道事業を取り巻く環境は厳しく、人口減少が影響し収益の増加が見込めない中、施設の老朽化に伴う更新事業、耐震化等を一層進めていく必要があります、厳しい経営が懸念されます。

今後につきましては、引き続き経費節減に努めるとともに、水道料金の見直しも検討し、経営の健全化を図っていききたいと考えております。

○給水状況について

(令和5年3月31日現在)

給水人口	81,255人
普及率	97.96%
給水率	98.35%
年間総配水量	10,817,920 m ³
年間総有収水量	9,526,457 m ³
有収率	88.06%
供給単価1 m ³ 当り	162円93銭
給水原価1 m ³ 当り	176円24銭

○経営状況について

収益的収支

	税込額	税抜額
収入	2,265,146,317円	2,104,419,131円 (前年度比28,757,314円減)
支出	2,097,228,800円	1,990,032,195円 (前年度比16,385,289円増)
純利益		114,386,936円

資本的収支

	税込額
収入	567,371,175円
支出	1,307,741,029円
不足額	740,369,854円

資本的収入額が支出額に対し不足する額は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 53,386,778 円、減債積立金 159,529,539 円及び過年度分損益勘定留保資金 527,453,537 円で補填しました。

○建設事業について

本年度は 50 件の建設改良事業を実施しました。主なものは次のとおりです。

・施設改良工事

柳瀬水系取水管更新及び沈砂池耐震補強工事

樋谷送配水管布設工事（第 1 工区）

樋谷送配水管布設工事（第 2 工区）

・委託業務

川滝地区水道施設機械電気設備更新詳細設計業務（その 1）

小富士第 2 水源測量設計業務

（2）経営指標に関する事項

令和 4 年度決算における経営成績について、経営の健全性を示す経常収支比率は、前年度比 2.33 ポイント減の 105.75%となりましたが、健全経営の水準とされる 100%を上回っております。

また、料金水準の妥当性を示す料金回収率は、前年度比 12.70 ポイント減の 92.45%となり、事業に必要な費用を給水収益で賄っている状況とされる 100%を下回っています。これは、水道料金の基本料金を 3 か月間免除する水道料金負担軽減事業を実施したことにより給水収益が減少したため供給単価が減少したことによるものです。なお、この基本料金の免除分についての一般会計からの繰入金を給水収益に含めた実質の料金回収率は 102.11%となります。

一方、償却対象資産の減価償却の状況を示す有形固定資産減価償却率は前年度比 1.69 ポイント増の 44.86%となっております。

いずれの数値につきましても現時点では良好と言えますが、現在実施中の管路更新事業のほかにも、場外施設の多くが更新の時期を迎えており、施設の更新・再構築には相当な事業費を要することとなります。今後も給水人口の減少等による料金収入の減少が見込まれており、厳しい経営状況となることが想定されます。

これらの課題を解決すべく、水道料金の見直しを検討し、中長期的な視野に立った設備投資を行い、持続可能な事業運営に取り組んでいきます。

<経営指標の推移>

	H30	R1	R2	R3	R4
経常収支比率	108.50%	106.13%	106.78%	108.08%	105.75%
料金回収率	104.92%	102.73%	102.28%	105.15%	92.45%
有形固定資産減価償却率	54.73%	39.91%	41.07%	43.17%	44.86%

令和4年度 四国中央

(1) 収益的収入及び支出

収 入

区 分	予 算		
	当 初 予 算 額	補 正 予 算 額	地方公営企業法第24条第3項の規定による支出額に係る財源充当額
	円	円	円
第1款 水道事業収益	2,301,100,000	0	0
第1項 営業収益	1,946,066,000	△179,400,000	0
第2項 営業外収益	355,004,000	179,400,000	0
第3項 特別利益	30,000	0	0

支 出

区 分	予 算				
	当 初 予 算 額	補 正 予 算 額	予 支 備 出 費 額	流 用 増 減 額	地方公営企業法第24条第3項の規定による支出額
	円	円	円	円	円
第1款 水道事業費用	2,233,000,000	0	0	0	0
第1項 営業費用	2,006,457,000	0	0	△1,674,491	0
第2項 営業外費用	221,520,000	0	0	1,674,491	0
第3項 特別損失	480,000	0	0	0	0
第4項 予備費	4,543,000	0	0	0	0

市 水 道 事 業 会 計 決 算 報 告 書

額			
合 計	決 算 額	予算額に比べ 決算額の増減	備 考
円	円	円	
2,301,100,000	2,265,146,317	△35,953,683	仮受消費税及び 地方消費税 160,575,078
1,766,666,000	1,728,588,940	△38,077,060	
534,404,000	536,557,377	2,153,377	
30,000	0	△30,000	

額			決 算 額	地方公営企業 法第26条第2項 の規定による 繰越額	不用額	備 考
小 計	地方公営企業 法第26条第2項 の規定による繰 越額	合 計				
円	円	円	円	円	円	
2,233,000,000	0	2,233,000,000	2,097,228,800	0	135,771,200	
2,004,782,509	0	2,004,782,509	1,893,406,447	0	111,376,062	仮払消費税及び 地方消費税 56,595,510
223,194,491	0	223,194,491	203,822,353	0	19,372,138	
480,000	0	480,000	0	0	480,000	
4,543,000	0	4,543,000	0	0	4,543,000	

(2)資本的収入及び支出

収 入

区 分	予 算			
	当 初 予 算 額	補 正 予 算 額	小 計	地方公営企業法第26条の規定による繰越額に係る財源充当額
	円	円	円	円
第1款 資本的収入	915,500,000	0	915,500,000	0
第1項 補助金	74,000,000	0	74,000,000	0
第2項 企業債	685,000,000	0	685,000,000	0
第3項 負担金	147,937,000	0	147,937,000	0
第4項 工事負担金	8,000,000	0	8,000,000	0
第5項 固定資産売却代金	563,000	0	563,000	0

支 出

区 分	予 算 額				
	当 初 予 算 額	補 正 予 算 額	流 用 増 減 額	小 計	地方公営企業法第26条の規定による繰越額
	円	円	円	円	円
第1款 資本的支出	1,735,500,000	0	0	1,735,500,000	92,905,000
第1項 建設改良費	1,169,923,000	0	0	1,169,923,000	92,905,000
第2項 企業債償還金	557,920,000	0	0	557,920,000	0
第3項 負担金	1,580,000	0	0	1,580,000	0
第4項 予備費	6,077,000	0	0	6,077,000	0

※ 資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額740,369,854円は、当年度分消費税及び地方消費税資本

額		合 計	決 算 額	予算額に比べ 決算額の増減	備 考
継続費通次 繰越額に係 る財源充当 額					
円	円	円	円	円	
0	915,500,000	567,371,175	△348,128,825		
0	74,000,000	74,000,000	0		仮受消費税及び 地方消費税
0	685,000,000	339,000,000	△346,000,000		0
0	147,937,000	147,936,484	△516		
0	8,000,000	6,434,691	△1,565,309		
0	563,000	0	△563,000		

継続費通次 繰越額	合 計	決 算 額	翌 年 度 繰 越 額		不 用 額	備 考
			地方公営 企業法第 26条の規 定による 繰越額	継続費通次 繰越額		
円	円	円	円	円	円	
0	1,828,405,000	1,307,741,029	175,414,000	0	175,414,000	345,249,971
0	1,262,828,000	748,285,833	175,414,000	0	175,414,000	339,128,167
0	557,920,000	557,876,178	0	0	0	43,822
0	1,580,000	1,579,018	0	0	0	982
0	6,077,000	0	0	0	0	6,077,000

的収支調整額53,386,778円、減債積立金159,529,539円及び過年度分損益勘定留保資金527,453,537円で補填した。

令和4年度 四国中央市水道事業損益計算書
(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

	円	円	円
1 営業収益			
(1) 給水収益	1,552,121,764		
(2) その他営業収益	19,450,000	1,571,571,764	
	<hr/>		
2 営業費用			
(1) 原水及び浄水費	426,556,387		
(2) 配水及び給水費	158,731,157		
(3) 総係費	168,860,163		
(4) 減価償却費	1,076,652,215		
(5) 資産減耗費	9,113,834		
(6) その他営業費用	0	1,839,913,756	
	<hr/>	<hr/>	
営業損失			268,341,992
3 営業外収益			
(1) 受取利息及び配当金	634,922		
(2) 他会計負担金	214,131,366		
(3) 受託事務収益	34,398,211		
(4) 長期前受金戻入	280,020,802		
(5) 雑収益	3,662,066	532,847,367	
	<hr/>		
4 営業外費用			
(1) 支払利息及び 企業債取扱諸費	102,766,015		
(2) 受託事務費	31,028,194		
(3) 雑支出	16,324,230	150,118,439	382,728,928
	<hr/>	<hr/>	<hr/>
経常利益			114,386,936
5 特別利益			
(1) 固定資産売却益	0		
(2) 過年度損益修正益	0		
(3) その他特別利益	0	0	
	<hr/>		
6 特別損失			
(1) 固定資産売却損	0		
(2) 過年度損益修正損	0	0	0
	<hr/>	<hr/>	<hr/>
当年度純利益			114,386,936
前年度未処分利益剰余金			0
その他未処分利益 剰余金変動額			159,529,539
当年度未処分利益剰余金			<hr/> <hr/> 273,916,475

令和4年度 四国中央市水道事業剰余金計算書
(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

(単位：円)

	資本金	剰余金							資本合計
		資本剰余金			利益剰余金				
		受贈財産 評価額	その他 資本剰余金	資本剰余 金合計	減債 積立金	建設改良 積立金	未処分利益 剰余金	利益剰余 金合計	
前年度末残高	10,642,461,715	33,728,166	27,492,903	61,221,069	0	0	299,181,313	299,181,313	11,002,864,097
前年度処分額	139,651,774	0	0	0	159,529,539	0	△ 299,181,313	△ 139,651,774	0
議会の議決による処分額	139,651,774	0	0	0	159,529,539	0	△ 299,181,313	△ 139,651,774	0
減債積立金の積立て	0	0	0	0	159,529,539	0	△ 159,529,539	0	0
自己資本金への組入れ	139,651,774	0	0	0	0	0	△ 139,651,774	△ 139,651,774	0
処分後残高	10,782,113,489	33,728,166	27,492,903	61,221,069	159,529,539	0	(繰越利益剰余金) 0	159,529,539	11,002,864,097
当年度変動額	0	0	0	0	△ 159,529,539	0	273,916,475	114,386,936	114,386,936
積立金の取崩	0	0	0	0	△ 159,529,539	0	159,529,539	0	0
資本剰余金の受入れ	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当年度純利益	0	0	0	0	0	0	114,386,936	114,386,936	114,386,936
当年度末残高	10,782,113,489	33,728,166	27,492,903	61,221,069	0	0	(当年度未処分 利益剰余金) 273,916,475	273,916,475	11,117,251,033

令和4年度 四国中央市水道事業剰余金処分計算書 (案)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	未処分利益剰余金
当年度末残高	10,782,113,489	61,221,069	0	273,916,475
議会の議決による処分額	159,529,539	0	114,386,936	△ 273,916,475
減債積立金の積立て	0	0	114,386,936	△ 114,386,936
自己資本金への組入れ	159,529,539	0	0	△ 159,529,539
条例による処分額	0	0	0	0
処分後残高	10,941,643,028	61,221,069	114,386,936	(繰越利益剰余金) 0

令和4年度 四国中央市水道事業貸借対照表
(令和5年3月31日)

		資 産 の 部			
		円	円	円	円
1	固 定 資 産				
	(1) 有形固定資産				
	イ 土 地		977,852,460		
	ロ 建 物	2,542,249,006			
	減価償却累計額	<u>△ 899,668,467</u>	1,642,580,539		
	ハ 構 築 物	27,512,246,656			
	減価償却累計額	<u>△ 12,850,729,889</u>	14,661,516,767		
	ニ 機 械 及 び 装 置	5,786,398,670			
	減価償却累計額	<u>△ 2,227,846,718</u>	3,558,551,952		
	ホ 車 両 運 搬 具	39,195,837			
	減価償却累計額	<u>△ 22,566,591</u>	16,629,246		
	ヘ 工 具 器 具 及 び 備 品	262,528,757			
	減価償却累計額	<u>△ 212,469,718</u>	50,059,039		
	ト 建 設 仮 勘 定		<u>1,471,355,244</u>		
	有形固定資産合計			22,378,545,247	
	(2) 無形固定資産				
	イ 施 設 利 用 権		526,722,492		
	ロ 電 話 加 入 権		912,825		
	ハ ダ ム 使 用 権		<u>6,047,037,684</u>		
	無形固定資産合計			<u>6,574,673,001</u>	
	固定資産合計				28,953,218,248
2	流 動 資 産				
	(1) 現 金 預 金			3,173,289,385	
	(2) 未 収 金				
	イ 営 業 未 収 金		26,983,793		
	ロ 営 業 外 未 収 金		3,263,478		
	ハ その他未収金		80,449,374		
	貸倒引当金		<u>△ 10,411,310</u>	100,285,335	
	(3) 貯 蔵 品				
	イ 材 料		26,664,307		
	ロ 貯 蔵 量 水 器		<u>4,474,804</u>	31,139,111	
	(4) 前 払 費 用			<u>3,161,400</u>	
	流動資産合計				<u>3,307,875,231</u>
	資 産 合 計				<u>32,261,093,479</u>

		負債の部		
		円	円	円
3	固定負債			
(1)	企業債		12,494,620,621	
(2)	引当金			
	イ 特別修繕引当金	<u>628,082,370</u>	628,082,370	
(3)	その他固定負債			
	イ 年賦未払金	<u>1,531,724</u>	<u>1,531,724</u>	
	固定負債合計			13,124,234,715
4	流動負債			
(1)	企業債		511,416,952	
(2)	未払金			
	イ 営業未払金	51,622,415		
	ロ 営業外未払金	18,342,839		
	ハ その他未払金	<u>57,220,050</u>	127,185,304	
(3)	前受金			
	イ 営業前受金	<u>70,870</u>	70,870	
(4)	引当金			
	イ 賞与引当金	<u>18,877,000</u>	18,877,000	
(5)	その他流動負債			
	イ 預り金	<u>64,889,830</u>	<u>64,889,830</u>	
	流動負債合計			722,439,956
5	繰延収益			
	長期前受金		14,881,296,058	
	収益化累計額		<u>△ 7,584,128,283</u>	
	繰延収益合計			7,297,167,775
	負債合計			<u>21,143,842,446</u>

資本の部

6	資本金			
(1)	自己資本金			
	イ 固有資本金	1,039,636,878		
	ロ 組入資本金	8,147,880,973		
	ハ 出資金	<u>1,594,595,638</u>	10,782,113,489	
	資本金合計			10,782,113,489
7	剰余金			
(1)	資本剰余金			
	イ 受贈財産評価額	33,728,166		
	ロ その他資本剰余金	<u>27,492,903</u>		
	資本剰余金合計		61,221,069	
(2)	利益剰余金			
	イ 当年度未処分利益剰余金	<u>273,916,475</u>		
	利益剰余金合計		<u>273,916,475</u>	
	剰余金合計			335,137,544
	資本合計			<u>11,117,251,033</u>
	負債資本合計			<u>32,261,093,479</u>

令和4年度四国中央市水道事業会計決算に関する注記

1 重要な会計方針に関する注記

(1) たな卸資産の評価方法

イ たな卸資産の評価方法は先入先出法を採用している。

(2) 固定資産の減価償却の方法

イ 有形固定資産の償却方法は、定額法（ただし、量水器は取替法）を採用している。

ロ 無形固定資産の償却方法は定額法を採用している。

(3) 引当金の計上方法

イ 退職給付引当金

本市では退職手当組合に加入しており、水道事業会計は一般会計を通じて、当該組合に掛金を拠出しているが、追加的負担は全額一般会計において措置するため、水道事業会計においては退職給付引当金を計上せず、拠出時に費用処理を行っている。

ロ 賞与引当金

職員の期末手当、勤勉手当及び共済組合負担金の支給に備えるため、当年度末における支給見込額に基づき、当年度の負担に属する額を計上している。

ハ 貸倒引当金

債権の不納欠損による損失に備えるため、一般債権について貸倒実績率により、回収不能見込額を計上している。

(4) 消費税及び地方消費税の会計処理

イ 消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっている。

2 貸借対照表等に関する注記

(1) 後年度において、一般会計等が負担する企業債等の償還に関する事項

イ 貸借対照表に計上されている企業債（当該年度末日の翌日から起算して1年以内に償還予定のものも含む。）及びその他固定負債のうち、一般会計等が負担すると見込まれる額は、1,098,539千円である。

3 セグメント情報の開示

(1) 報告セグメントの概要

四国中央市水道事業会計では、料金設定の異なる地域毎の報告セグメントとしている。

(2) 報告セグメントごとの営業収益等

当年度（自 令和4年4月1日 至 令和5年3月31日）

（単位：円）

区分	水道事業		簡易水道事業	合計
	三島川之江地域	土居地域	新宮地域	
営業収益	1,392,166,546	167,638,282	11,766,936	1,571,571,764
営業費用	1,522,395,742	249,647,913	67,870,101	1,839,913,756
営業損益	△130,229,196	△82,009,631	△56,103,165	△268,341,992
経常損益	152,410,823	△4,234,871	△33,789,016	114,386,936
セグメント資産	26,538,368,095	5,011,556,974	742,168,410	32,292,093,479
セグメント負債	16,425,189,538	4,129,105,361	620,547,547	21,174,842,446
その他の項目				
減価償却費	869,700,126	156,510,050	50,442,039	1,076,652,215
他会計負担金	191,160,713	129,415,220	47,926,608	368,502,541
有形固定資産 及び無形固定 資産の増加額	601,306,780	305,065,378	23,613,182	929,985,340

4 その他の注記

(1) 特別修繕引当金に関する経過措置

平成26年3月31日以前に引き当てられたものについては、引き続き従前の例により取り崩すこととする。